

《発行》日本オゾン療法研究所 神力就子

No.20

オゾン療法研究 ニュース

2023.11

統合医療の発展にむけて

往診による犬猫のオゾン治療

獣医師・医学博士 小関 隆

(モバイルアニマルクリニック)

往診によるオゾン治療

往診専門で統合医療(西洋医学 20%、代替医療 80%)を犬猫に提供している獣医師です。オゾン治療、水素治療、鍼灸、プラセンタ治療、幹細胞培養上清液注射、直腸透析、CBD などの治療をしています。アメリカの友人でオゾン治療が大好きな統合医療獣医師と連携して、お互い治療情報の交換をしながら、オゾン発生装置、酸素ポンプ、そして往診鞆が私の往診 3 点セットでして、オゾン発生装置は必ず持参して車で飼い主さんの自宅に伺う往診をしています。信号待ちで、往診車の前に停車したタクシーの車体に「コロナ感染予防対策・低オゾン発生器搭載車」というステッカーが貼ってあるのを街中で時々見かける様になり、少しずつオゾン仲間が増えてきたな、オゾンの認知も進みつつあるなと微笑むこの頃です。



往診用 モバイルセット



携帯用オゾン発生器



携帯用酸素ポンプ

犬猫におけるオゾン注腸法

患者(犬猫)に対して基本のベースの治療としてオゾン注腸を取り入れています。オゾン注腸の治療頻度としては週に1回が中心で、2週間に1回、1ヶ月に1回がそれに続きます。往診による在宅治療のため、対象動物はシニアの犬猫が多いです。骨関節炎・椎間板ヘルニア・アレルギー疾患・腫瘍・抗がん剤/放射線療法の副作用・腎臓病・心臓病・食欲不振・脱毛・感染症・疼痛・斜頸などなど、様々な症状・疾患を1種類だけでなく複数持っているケースがシニアの犬猫によく見られます。かかりつけ医による既存の治療も尊重しながら、その上につけ加えられるオゾン注腸はとても使い易くオールラウンドプレイヤー的存在です。オゾン注腸治療はとても安全で、かつ身体に優しく、効果的な治療なので、統合医療を希望される飼い主さんはすんなりと受け入れてくれます。

オゾン療法 治療中(注腸法)



他のオゾン治療方法

椎間板ヘルニア、後肢不全麻痺の犬猫では、オゾンの皮下注射をオゾン注腸と併用します。外耳炎では、オゾンガスを少量、耳道局部に噴霧をする事もあります。また、皮膚疾患、感染症、褥瘡ではオゾン水の洗浄をします。犬で夏場よく見られる趾間炎で真っ赤に腫れた足先の場合は、新鮮なオゾン水に足先を数分間漬けて治療します。また、いくつかの動物病院の診療で「特発性・・・原因不明」とされ治療方法が見つからなかった症例で、オゾン注腸が効果を示す事があります。また、難病とされ匙を投げられるケース(犬の脊髄変性症など)でも、諦めずにオゾン治療を試してみると反応が見られることもあります。オゾン注腸に加えて、水素治療(水素添加点滴・水素灸)、幹細胞培養上清液注射、鍼治療、交流磁気治療(マグネ)、CBD を組み合わせも相性がよく、飼い主さんの満足度も高いです。

オゾン治療を受け入れる飼い主さん

オゾン治療を頼まれる飼い主さんには2種のタイプがあります。1つは、飼い主さん自身がオゾン治療を何回か受けたことがあり、効果を実感しているケース。「オゾンの優れた効果は自分が体感済み。うちの犬猫にも是非オゾン治療をやって下さい」と、すんなりと犬猫のオゾン治療に進めます。別のタイプの飼い主さんはオゾン治療を全く知らない飼い主さんではあるものの、痛みがなく身

体に優しい統合医療・代替医療を好んでいるため、私がオゾン治療の説明をすると、犬猫に対するオゾン治療開始をOKされます。

自分もオゾン治療を開始し始める飼い主さん

犬が重度の骨関節炎で、背中を丸め、痛さでとぼとぼとロボット様歩行してる・・・そこにオゾン注腸、交流磁気ユニットなどで治療し始めると、犬がまるで若返った様に明るく活発的になり、滑らかに歩くのを見てビックリ。自分も実は股関節痛がひどいのでやってみようかと、(人間のクリニックの)オゾン治療に通い始め、「オゾン治療を定期的に受けている愛犬を抱いて交流磁気ユニットを横に置きソファに座ってテレビを見る様にしたら、股関節痛が改善して痛みが消えたよ」と、大変喜ばれる飼い主さんもいます。「私と犬、一緒に自宅でオゾン治療してよ」と(冗談で?)獣医師の私に頼む飼い主さんもたまにいて、、、「すみません獣医師なんで治療するのは動物だけです」と答えると、「私は人間だけど、人間も動物なんだから、獣医師であるあなたが治療していいんじゃない?」とウインクするユーモアに富んだ飼い主さんもいらっちゃって、そんな場合は私は苦笑しながらパスしています。ちょうどコロナ感染対策が盛んだった頃、アルコールによる肌の荒れを訴える飼い主さんが、私の勧めでオゾン水装置を自分で購入して、自分の犬の患部をオゾン水で洗浄する一方、人間の手指の消毒・喉のうがいをご家族全員で行い、旦那さんの水虫対策にも利用され、その低刺激、安全性そして予防効果に満足された方が何人かいらっしゃいました。

まとめ

- ・ オゾン療法は安全、シンプルで、往診でも犬猫に対して簡単に利用できる。
- ・ オゾンはオールラウンドプレイヤーとして、投与経路を選んで、犬猫の様々な症状に対応できる。
- ・ オゾンは H₂、マグネ、鍼治療、幹細胞培養上清液、CBD などの治療と組み合わせて使用すると治療効果が高まることが期待される。
- ・ 犬猫でのオゾン治療の効果を垣間見て、飼い主さん自身がオゾン治療を取り入れるきっかけになる可能性がある。 と確信しています。